

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「E X E - i グローバル中小型株式ファンド」は、2023年5月12日に第10期決算を行いました。

当ファンドは、主としてETF（上場投資信託）への投資を通じて、世界（日本を含む）の中小型株式へ実質的に投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざして運用を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

### 第10期末（2023年5月12日）

基準価額	23,371円
純資産総額	12,861百万円
第10期	
騰落率	8.0%
分配金（税込み）合計	0円

(注1) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>  
右記SBIアセットマネジメントのURLにアクセス  
⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択 ⇒ 「目論見書・定期レポート等」を選択 ⇒ 「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

# E X E - i グローバル 中小型株式ファンド

追加型投信／内外／株式

## 交付運用報告書

第10期（決算日2023年5月12日）

作成対象期間（2022年5月13日～2023年5月12日）

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

SBIアセットマネジメント  
URL:<http://www.sbiasset.com/jp/>

## 運用経過

## 基準価額等の推移

(2022年5月13日～2023年5月12日)



(注1) 参考指標はFTSE グローバル スモール・キャップ インデックス (米ドルベース) を委託会社で円換算しています。詳細はP13をご参照ください。  
 (注2) 参考指標は、2022年5月12日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。  
 (注3) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

## ○基準価額の主な変動要因

## 上昇要因

- ・米消費者物価指数 (CPI) の伸び鈍化による米国金融政策の緩和への期待
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のために実施されていた中国の行動制限緩和への期待
- ・対円で米ドルが上昇したこと

## 下落要因

- ・米連邦準備制度理事会 (FRB) の積極的な政策金利引き上げ
- ・英減税計画により財政悪化が懸念されリスク回避の動きが強まったこと
- ・米国金融機関の破綻に伴う信用不安によりリスク回避の動きが強まったこと

## 1万口当たりの費用明細

(2022年5月13日～2023年5月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 59	% 0.253	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(26)	(0.110)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	(26)	(0.110)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 8)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	2	0.007	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
( 投 資 信 託 証 券 )	( 2)	(0.007)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
( 投 資 信 託 証 券 )	( 0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	4	0.017	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 3)	(0.012)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( そ の 他 )	( 0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	65	0.277	
期中の平均基準価額は、23,385円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

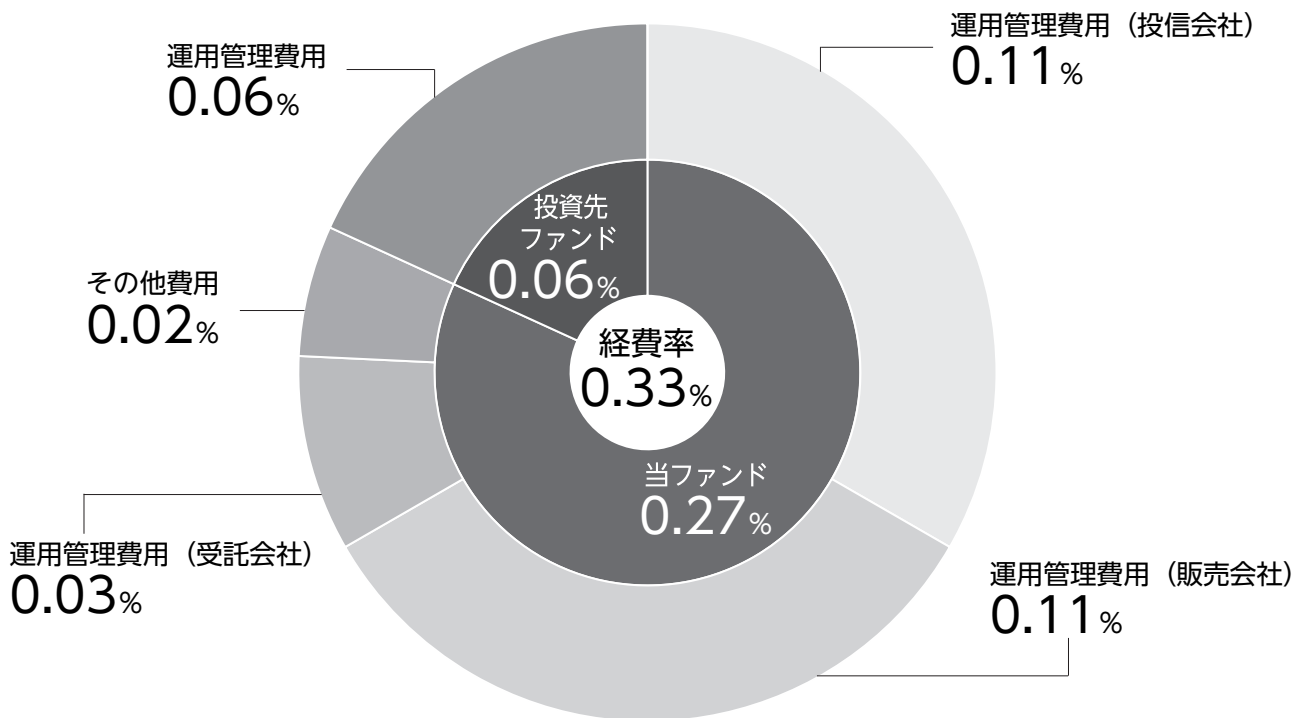
(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

## ○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く）

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は0.33%です。



経費率 (①+②)	0.33%
①当ファンドの費用の比率	0.27%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.06%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) ②の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理費用の比率を乗じて算出した概算値です。

(注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

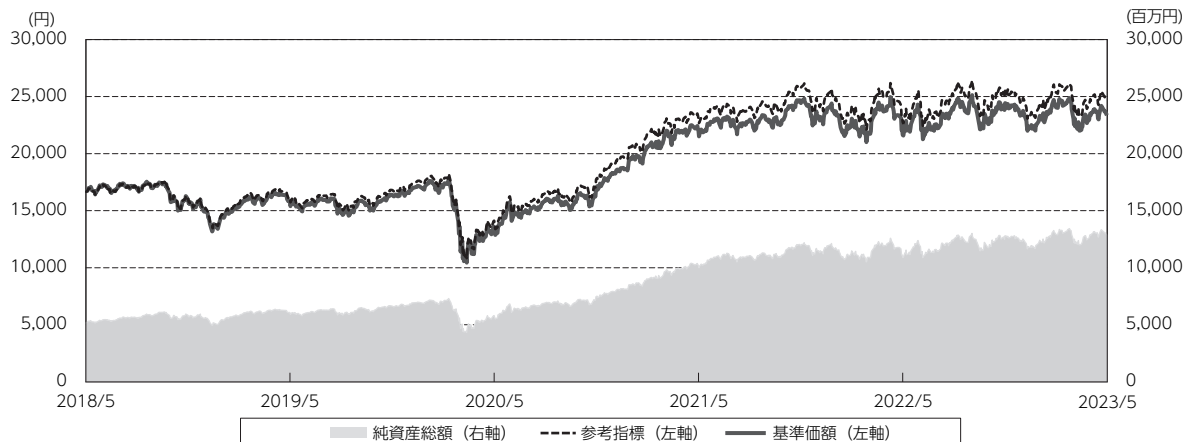
(注5) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2018年5月14日～2023年5月12日)



(注) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

	2018年5月14日 期初	2019年5月13日 決算日	2020年5月12日 決算日	2021年5月12日 決算日	2022年5月12日 決算日	2023年5月12日 決算日
基準価額 (円)	16,661	15,895	13,601	21,972	21,634	23,371
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	△ 4.6	△ 14.4	61.6	△ 1.5	8.0
参考指標騰落率 (%)	—	△ 3.0	△ 12.6	63.4	△ 1.2	8.3
純資産総額 (百万円)	5,191	6,082	5,800	10,186	10,917	12,861

(注1) 参考指標はFTSE グローバル スモール・キャップ インデックス (米ドルベース) を委託会社で円換算しています。詳細はP13をご参照ください。

(注2) 参考指標は、2018年5月14日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

(注3) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注4) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

**投資環境**

(2022年5月13日～2023年5月12日)

**<中小型株式市場>**

期初、米国株式市場を代表するS&P500種指数は4,000台で始まり、FRBのタカ派化に伴う米長期金利上昇への警戒感と中国景気への懸念や一部の米大型ハイテク企業の決算が嫌気されたことなどから、6月中旬にかけて3,600台まで下落しました。中国の景気支援策への期待などから7月以降は上昇しましたが、8月中旬に4,300台に到達した後、FRBのパウエル議長がインフレ抑制に向けて利上げ継続姿勢を強調し、米金利が上昇したことなどを受けて、10月中旬にかけて3,500台まで下落しました。その後、英減税計画の一部撤回やCPIの伸び鈍化が好感され、11月に4,000近辺まで反発しました。12月には一時的に下落しましたが、2023年1月には雇用統計で賃金の伸び鈍化が確認されるとともに、景気の軟着陸期待も強まったことから、上昇しました。その後2月には雇用の大幅増加、CPIの上ぶれや堅調な小売売上高に伴う高インフレ懸念、3月には米国金融機関の破綻に伴う信用不安などが嫌気されS&P500種指数は調整局面に入りましたが、当局の対応などからやや値を戻し、3月下旬以降は上昇しました。通期ではS&P500種指数は上昇し、4,100台で期を終えました。

**<外国為替市場>**

当期、米ドル円相場は円安に動きましたが、期末にかけて円高に戻る動きも見られました。当期は128円台で始まり、その後も0.75%の大幅利上げを4回連続で実施するなど金融引き締めを積極化するFRBの動きを受けて円安・ドル高傾向が続きました。このような状況下、9月22日に日本銀行は約24年ぶりに為替介入を実施しました。その後も、米消費者物価指数（CPI）の高止まりによる引締め懸念から米ドルは上昇し10月21日に150円台を付け、為替介入が実施されると、140円台後半での推移となりました。11月以降、米連邦公開市場委員会（FOMC）で利上げ幅が拡大されるとの見方が後退し、円高・ドル安が進み、1月は米ドル円相場が127円台まで下落しました。3月前半は堅調な米雇用統計や、米サービス業景気指数の予想を上回る改善などから、円安・ドル高が進行しました。3月後半から4月前半は、米地銀破綻による金融システム不安から投資家のリスク回避姿勢が強まり、米長期金利が低下した事や、米ISM製造業景況感指数が2020年5月以来の水準に低下した事による米景気先行き懸念を受けて円高・ドル安が進行しました。4月後半、米長期金利の上昇、日本銀行の長短金利操作の維持などから、円安・ドル高が進みました。通期では、円安・ドル高が進み、134円台で終わりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2022年5月13日～2023年5月12日)

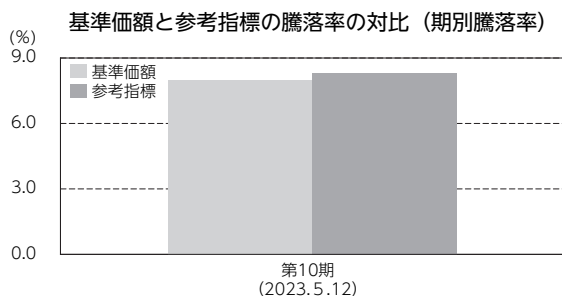
ウエルズアドバイザー株式会社の投資助言に基づいた基本投資割合に従い、海外のETF（上場投資信託）への投資を通じて、世界（日本を含む）の中小型株式へ実質的に投資を行いました。投資比率の合計は95%以上の高位を保ちました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2022年5月13日～2023年5月12日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

右記のグラフは、基準価額と参考指標の騰落率の対比です。



(注) 参考指標はFTSEグローバル スモール・キャップ インデックス（円換算ベース）を使用しています。詳細はP13をご参照ください。

**分配金**

(2022年5月13日～2023年5月12日)

当期の収益分配は、運用の効率性と基準価額の水準を勘案し見送ることといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第10期
	2022年5月13日～ 2023年5月12日
当期分配金	－
(対基準価額比率)	－%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	13,371

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

**今後の運用方針**

主としてETF(上場投資信託)への投資を通じて、世界(日本を含む)の中小型株式へ実質的に投資し、世界(日本を含む)の中小型株式市場の値動きと同等の投資成果をめざします。当ファンドの運用にあたっては、ウエルスアドバイザー株式会社の投資助言を受け、原則として年1回基本投資割合の見直しを行います。



## お知らせ

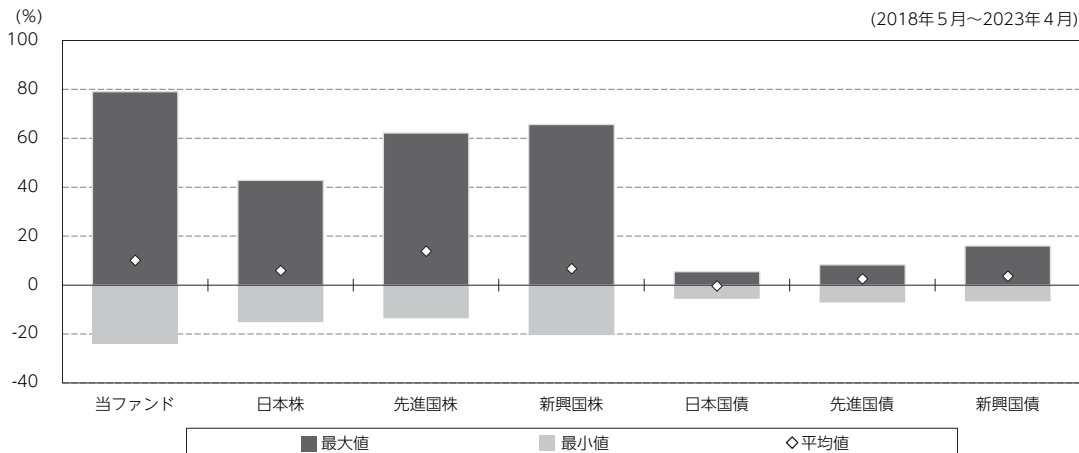
該当事項はありません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	無期限（2013年5月13日設定）
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主として世界（日本を含む）の中小型株式市場の値動きに連動する投資対象ファンドを複数組合せることにより、信託財産の中長期的な成長をめざします。</li> <li>・ 参考指標は、FTSEグローバル スモール・キャップ インデックス（円換算ベース）とします。（2023年5月12日現在）</li> <li>・ 市場の変動により、投資対象ファンドの組入比率が基本投資割合から乖離した場合は、原則として3カ月に1回、基本投資割合へ戻す調整を行います。</li> <li>・ 基本投資割合の見直しについては、投資対象ファンドの経費率、パフォーマンス、参考指標との連動性、流動性等を考慮して、原則として1年に1回行います。</li> <li>・ 当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行い、実質的な運用は投資信託証券への投資を通じて行います。</li> <li>・ 当ファンドの運用にあたっては、「ウエルスアドバイザー株式会社」の投資助言を受けます。</li> </ul>
主要投資対象	主としてETF（上場投資信託）への投資を通じて、世界（日本を含む）の中小型株式へ実質的に投資します。
運用方法	主として世界（日本を含む）の中小型株式市場の値動きに連動する投資対象ファンドを複数組合せることにより、信託財産の中長期的な成長をめざします。
分配方針	毎決算時（年1回毎年5月12日。休業日の場合は翌営業日とします。）に、分配方針に基づき分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とし、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して収益分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わない場合があります。

## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	79.0	42.8	62.2	65.6	5.5	8.3	16.0
最小値	△ 23.8	△ 15.1	△ 13.6	△ 20.4	△ 5.6	△ 7.1	△ 6.6
平均値	10.1	5.9	13.8	6.7	△ 0.4	2.5	3.6

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2018年5月から2023年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

## 《各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数 (除く日本)

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数 (除く日本)

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

\*各指数についての説明は、P13の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2023年5月12日現在)

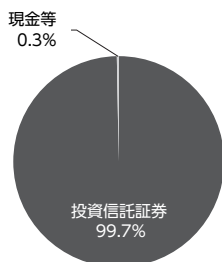
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第10期末
	%
バンガード・スモールキャップ ETF	60.0
バンガード・FTSE・オールワールド(除く米国)スモールキャップETF	39.7
組入銘柄数	2銘柄

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

## ○資産別配分



(注1) 資産別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分は組入投資信託証券評価額に対する比率です。

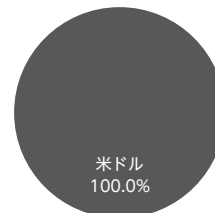
(注3) 国別配分は発行国を表示しております。

(注4) 通貨別配分は組入投資信託証券の株式評価額に対する比率です。

## ○国別配分



## ○通貨別配分



## 純資産等

項目	第10期末
	2023年5月12日
純資産総額	12,861,012,782円
受益権総口数	5,502,873,919口
1万口当たり基準価額	23,371円

(注) 期中における追加設定元本額は1,035,227,980円、同解約元本額は578,796,288円です。

## 組入上位ファンドの概要

## バンガード・スモールキャップ ETF

【基準価額の推移】

(2022年3月～2023年3月)



【組入上位10銘柄】

(2023年3月末現在)

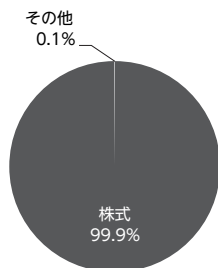
	銘柄名	比率
		%
1	IDEX Corp.	0.4
2	Fair Isaac Corp.	0.4
3	Targa Resources Corp.	0.4
4	Liberty Media Corp-Liberty Formula One	0.4
5	Atmos Energy Corp.	0.4
6	Reliance Steel &Aluminum Co.	0.3
7	Axon Enterprise Inc.	0.3
8	Bunge Ltd.	0.3
9	PTC Inc.	0.3
10	Lattice Semiconductor Corp.	0.3
	組入銘柄数	1,458銘柄

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

## 【1万口当たりの費用明細】

入手可能な1万口当たりの費用明細のデータが存在しないため、掲載しておりません。

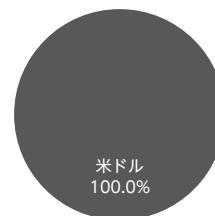
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 資産別・国別・通貨別のデータは2023年3月31日現在のものです。

(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は株式評価額に対する比率です。

(注4) 国別配分は発行国を表示しております。

※Bloomberg及びThe Vanguard Group,Inc.のデータを基にSBIアセットマネジメントが作成

## バンガード・FTSE・オールワールド（除く米国）スモールキャップETF

## 【基準価額の推移】



## 【組入上位10銘柄】

(2023年3月末現在)

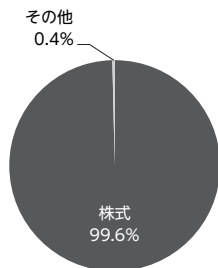
	銘柄名	比率
		%
1	WSP Global Inc.	0.6
2	First Quantum Minerals Ltd.	0.5
3	Cameco Corp.	0.4
4	Emera Inc.	0.4
5	Open Text Corp.	0.4
6	Ritchie Bros Auctioneers Inc.	0.4
7	TFI International Inc.	0.4
8	CCL Industries Inc.	0.3
9	ARC Resources Ltd.	0.3
10	Ecopro Co. Ltd.	0.3
組入銘柄数		4,274銘柄

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

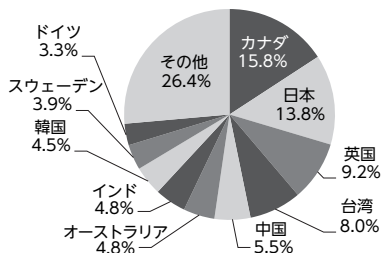
## 【1万口当たりの費用明細】

入手可能な1万口当たりの費用明細のデータが存在しないため、掲載しておりません。

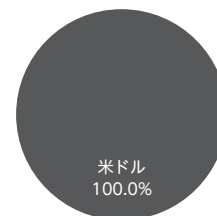
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注1) 資産別・国別・通貨別のデータは2023年3月31日現在のものです。

(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は株式評価額に対する比率です。

(注4) 国別配分は発行国を表示しております。

※Bloomberg及びThe Vanguard Group, Inc.のデータを基にSBIアセットマネジメントが作成

### ＜当ファンドの参考指標について＞

参考指標は2015年1月まではMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス・スモールキャップ（米ドルベース）を、2015年2月からはFTSEグローバル スモール・キャップ インデックス（米ドルベース）を委託会社で円換算しています。

#### ○FTSEグローバル スモール・キャップ インデックス

FTSEグローバル スモール・キャップ インデックスとは、FTSE社が開発した指数で世界の中小型株式市場全体の動きを表す指数です。同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はFTSE社に帰属します。

### ＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

#### 〈各指数の概要〉

日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。

先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。

新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。

日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。

先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。

新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

#### 〈重要事項〉

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。